

令和8年6月1日（月）

魚沼きこえの教室だより

令和8年度 第3号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：小池 豊

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

Tel:025-792-5462 fax:025-792-5465

Email:koike.yutaka@nein.ed.jp

水泳授業の季節到来！ 配慮事項は？

6月後半から多く学校で水泳の授業が始まります。当然授業中は、補聴器や人工内耳を外します（※人工内耳を装着したままで入水できる「アクアプラス」という防水カバーもあります）。外した状態では、聴覚情報が届かないため、指示が通りにくく安全面にも細心の注意が必要です。また、軽度や片耳の難聴で補聴器装着していない子どもたちも、水をかく音や跳ねる音で指示が聞こえにくくなります。とは言え、水泳を楽しみにしている子どもたちもたくさんいます。そこで、一人一人のニーズや各校の実情に合わせて、次のような支援をぜひお願いいたします。



- 【事前説明】**教室などで、事前に授業の流れや練習の内容を伝えておく。**
- 【補聴】準備体操や説明までは補聴器や人工内耳を着け、入水の直前に外す。
- 【視覚支援】**事前指導した内容を指示カードにし、ラミネートをかけて、水中でも使えるように準備する**（低学年は、イラストがあると分かりやすい）。
- 【視覚支援】旗や手の動作など、視覚的に確認できる合図を用いる。
- 【モデル】前の友だちの動きを見ていれば分かるように、並ぶ位置や順番を工夫する。先頭ではなく2，3番目くらいが望ましい。
- 【支援協力】話者に注目させるために、**よそ見をしていたら周りの友だちから声をかけてもらうようにしておく。**肩をトントンと軽く叩いて伝えるなど。

宿泊学習や修学旅行では…

この時期、修学旅行や自然教室といった「泊を伴う行事」も多くの小学校で行われます。在籍校から実施計画をいただき、きこえの教室でも指導をしています。まず大切にしたいのは、日程や内容、メンバーなどの再確認です。見通しをもって活動を楽しめるように、丁寧にやりとりをしながら、事前学習を補っていきます。

また、右の例では、人工内耳の取り扱いについて、担任の先生と一緒に学びました。水辺の活動で注意が必要だとか、入浴や就寝時は人工内耳を外したり、充電したりする必要があるとか、場面ごとに確認をします。**本人が自立して管理できる力**が求められるため、その場で実際に着脱したり、充電したりする練習もしました。

さらに、地震などの緊急時の対応や、同室の友達にどう伝えるかということも大きな課題です。人工内耳の管理や外した場合の対応などについて周囲のみんなにも伝え、協力を仰ぐようにします。

日づけ	月	日	内容	人工内耳の管理
自然教室	いつ	から	まで	
	どこへ			
◎日程を確認し、補聴器や人工内耳を管理しよう！				
水に注意するとき…青 人工内耳などを外すとき…赤 充電するとき…緑 先生が確認するとき…紫				
1日目	① 昼	昼食作り	()	を作る。
	② 午後	()		での活動。
	③ 夜	()		
	④ 夜			夕食を食べる。

